

「さとやま博」は3つのプログラムで構成

その① 里山イベント

- 特別企画イベント
- 里山を楽しむ体験メニュー
- お通り、モーモー祭などの既存行事・地域イベント

その② 里山ツアー

- 地域着地型のさとバスツアーの企画
- 各旅行会社のバスツアー

その③ 注目スポット

- 桜や紅葉などの観光地
- 温泉などの観光施設
- おいしい食べ物

ポイントは、都会では味わえない「さとやま体験」

現在、さとやま博で用意されているメニューは、約40種類。これから四季に応じて、さまざまな体験メニューが作られていきます。その主体となるのは、もちろん市民のみなさんです。

そこで、さとやま博体験メニューに参加される方たちに、今提供している、あるいは提供予定のメニュー紹介とさとやま博への思いを伺いました。

さとやまびと

私は山野草が好きで、エヒメアヤメやヤマシヤクヤクなど約150種類を約3畝の山に植えています。山野草だけではなく、敷地内にはサツマイモを5、6000株植えており、



内藤 寿彦さん

② 山野草散策

山野草散策はもちろん、芋掘り体験もできます。山野草の見ごろは例年4月〜5月ごろ。今の時期はシラヒゲソウなどを見ることが出来ます。自給自足をすれば景気は関係ないと思いがち、山野草を植えるはじめて20年以上が経ちますが、毎年県内外から多くのお客さんに来ていただいています。中には、わざわざこの場所を探し出して来たというお客さんもいて、常に喜びを感じています。目標は、日本一の山野草地帯にすること。将来的には、障害者の方の雇用の場になるように施設や環境の整備を進めていきたいと考えています。

とにかく、お客さんに多く来ていただきたいと願っています。そのため、さとやま博には、情報発信と集客という部分にとっても期待しています。



植物や花に興味があった私は、10数年前からハーブを作るようになりました。ハーブは自宅の畑で約30種類を苗作りから行っています。石けん、リース、ポプリづくりなどご家庭で



土井 福恵さん

① 暮らしのハーブ体験

さとやま博によって、庄原に多くの方が訪れ、まちが元気になればうれしいです。そのためには、庄原に住んでいる人が、市外からのお客さんと同様に体験メニューに参加してもらうことも必要ではないでしょうか。

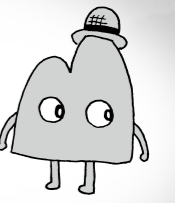
この機会が足がかりとなり、一緒に楽しむ人が市内に増えて輪が広がり、希望の持てる地域になることを期待しています。



ついに開幕!!

あなたの身近でみつけ体験!

2010 庄原さとやま博



庄原さとやま博が10月3日に開幕しました。これから1年、市内全域を舞台とする「さとやま博」。この催しは、庄原市の魅力を発信する大きなチャンスであり、各地域の良さを再発見し、それをビジネスに変えていくチャンスです。

庄原さとやま博が、市民の皆さんにとってどんなメリットがあるのか、チャンスをもものにするにはどうすればいいのかを一緒に考えながら、この催しを成功させるため一緒になって盛り上げていきましょう。



主役は市民の皆さんです

さとやま博は、従来のようにパビリオン(仮設の展示館)をつくり実施する博覧会ではなく、市全域が博覧会場となり、地域の観光資源がパビリオンになります。そこでイベントなどを行い、四季を通じて集客を図りながら、幅広く地域の魅力を連携させ、周遊型観光・通年型観光の仕組みをつくります。

経済循環と儲ける仕組みづくりを目指して支援します

「さとやま博」は、観光を庄原市の産業として位置づけるための仕組みづくりを行うプロジェクトです。

まず、市民の皆さん自らの発想で、里山の地域資源を活用した新たな庄原市の楽しみ方をつくります。そして、それを観光資源として商品化し売り出す。それが、体験メニュー、イベントやツアーとなつて、地域経済が発展する仕組みづくりの第一歩となります。これを増やし、連携させることによって経済循環・儲ける仕組みの構築につながっていきます。

とは言っても、いきなりどうしたらいいかわからないという方のために、体験メニューの開発研修会・開発資金・開発に対するアドバイザーをご用意しています。これらの援助・派遣を受けたいと希望される方は、今すぐ庄原市観光協会連合会観光公社設立準備室へご連絡ください。

体験メニューや特産品を開発するための資金援助が受けられます

対象になる経費や要件は、掲載内容以外でも庄原市観光協会連合会長が認める場合には活用が可能となりますので、ぜひご相談ください。

事業	補助要件	対象経費	要件
体験メニュー開発支援	新たに開発する体験プログラム事業	①体験に必要な備品 ②視察および研究に必要な経費 ③パンフレットなどの作成に必要な印刷費 ④体験に必要な使用料および借上料	①庄原の地域資源を活用すること ②継続的(季節などの期間限定でも可)に受け入れること
	既に実施している体験メニューのブラッシュアップ事業	①庄原の地域資源を活用すること ②市民が儲ける仕組みづくりの手段となる内容であること ③外部向けに内容を充実させる事業であること	
交流イベント支援	新たに開発する交流イベント事業	①開催に必要な備品 ②視察および研究に必要な経費 ③パンフレットなどの作成に必要な印刷費 ④イベントに必要な使用料および借上料	①庄原さとやま博のメニューとして実施できるもの ②さとやまバスツアーのメニューとして受け入れが可能なもの ③事業ごとに定めた要件をすべて満たしていること
	既存イベントのブラッシュアップを行う事業		
特産品づくり支援	調理、加工または製造された料理、加工食品、お土産の開発・販売事業	①試作研究などの開発経費 ②実験販売、市場調査などの経費 ③販売表示など宣伝PR経費	①地域資源や新たな素材などを活用し庄原の名物料理、名物食品の開発と販売に取り組む内容であること ②名物として親しまれ、集客および収益が見込まれる事業であること
ガイド育成支援	ガイド育成事業	①講師謝礼 ②研修会開催経費 ③ガイドに必要な物品購入	①バスツアーなどの観光地ガイドとして活動が見込まれる内容であること

●補助額は対象経費の実費です。(ただし限度額は10万円、交流イベント支援事業に限り20万円)

●体験メニューへの参加予約を受け付け中!

体験メニューへの参加は、事前の申し込みが必要で、電話またはホームページから申し込んでください。
(体験メニューは、パンフレット、ニュースペーパー、ホームページに掲載しています)
庄原市観光協会連合会観光公社設立準備室 ☎0824-75-0173 受付時間9時~17時
さとやま博ホームページ <http://shobara-satoyama.jp>
※体験メニュー参加希望者から、メニュー先へ直接申し込みはできませんので、あらかじめご了承ください。

さとやま博に関するお問い合わせは、庄原市観光協会連合会観光公社設立準備室
☎0824-75-0173 または、商工観光課 ☎0824-73-1177(まで)。

市民の皆さんに期待



庄原市観光協会連合会 会長
塩本 誠二さん

さとやま博というと、日本のどこにもある風景だと言われますが、春夏秋冬をばらばらと感ぜられるさとやま博としては、庄原は日本一だと思っています。だからこそ1年2カ月の間、いつでも四季を楽しめて何度も足を運んでいただける博覧会にしていきたくと思っています。

庄原には、そのときどきの旬を味わえる食文化や地域の宝になる資源があります。そして、四季を通じて生活を送り、暮らしの技や知恵を持っている情豊かな「人」がいます。これが都会の人たちにとっては大きな魅力に映っています。庄原ならではの特技を

持った方もたくさんいらっしゃるので、その方の得意なことを体験メニューとして提供し、お客さんとふれあいながら、交流を深めることができる体験型観光を進めていきたい。そこから小さな成功体験が生まれ、それを積み重ねてもらうことで、自信や誇りが生まれると期待しています。得意なものがないという方も、どんな小さなことでも今お持ちの情報をお寄せいただいたり、まちなかの花壇などを清掃したりするなど、何らかの形でかわっていただきたいと思います。

体験メニューが増えれば、人と人とのつながりが生まれ、そこからコミュニケーションができていくことによって、地域間の垣根もとれた市全体の一体感につながると期待しています。

連合会は、お客さんが欲しい情報をすぐに提供したり、周遊コースなどを案内したりする総合インフォメーション機能の役割を担いたいと考えています。そして、このさとやま博を通じて、二元的に庄原の情報を全国に発信し、庄原というまちを全国に自慢したいと思っています。

市民の皆さんの参加で、さとやま博と庄原を盛り上げていきましょう。

さとやまびと

③ 癒しの苔玉づくり



口和
桑野 歩さん

苔玉とは、山野草などの根を土で覆い丸めて苔で巻いたものです。伝統の苔玉は、土づくりが基本。さまざまな種類の山野草を使うことでバリエーション豊かな苔玉を作ることが

できます。器を替えると雰囲気が変わったり、レトロな雰囲気が楽しめるのも魅力です。田舎の風景を閉じ込めた苔玉を持ち帰ってもいい、庄原を感じてもらうこともできます。現在は、講師として講習会などに出席家を空けることが多いので、将来的には住家を拠点にして、好きな材料を選んでいただきながら苔玉づくりを楽しんでもらうスタイルにしていきたい。ゆつたりのおんびりした活動ができればと思っています。体験メニューでは、土づくりから体験していただき、風鈴や松竹梅を使ったお正月用の苔玉などにチャレンジしていただこうと思っています。

さとやま博に期待するのは、リーダーです。それには、メニューとメニューをつなげるような取り組み、おすすめのおさやま体験コースなどがあればいいと思います。田舎と都市の交流がもたらす増えればいいですね。



④ 田舎体験のお宿づくり



川北
森本 千尋さん

東京で一度就職していましたが、田舎暮らしをしたいという思いにかられ、母の実家がある庄原に1ターンスしてきました。空家となった母の実家を再生し宿にしようと、現在修繕

に取り掛かっています。当初思い描いていた通りにはいかず、ほとんど行き当たりばったりでしたが、地域の皆さんに助けられながら来年4月のオープンに向け少しずつ整備しています。お客さんには、宿の周辺の草刈や畑仕事、家の修理など一緒になって汗を流してもらったり、栽培している野菜を収穫して調理して食べてもらったりするなど、さとやまにある田舎暮らしをそのまま体験していただこうと思っています。そして、調理には地元のお母さん方を講師に迎えるなど、お客さんを地域で受け入れていく雰囲気を作っていき、気持ちよく泊まっていただけ宿にし

ていきたいと思っています。さとやま博には起爆剤としての役割を期待しています。これから実施していくものが庄原に根付くように、しっかりとレールを敷く必要があると思います。また、私たちが参加している者同士が交流できる企画などがあれば、横のつながりが持て、プラスアルファが期待できると思います。



主な秋のイベント

10月9・10日	口和モーモー祭	口和総合運動公園
10月11日	和太鼓と花火の響演	備北丘陵公園
10月14日	綿陽市文化芸術団公演	庄原市民会館
10月16・17日	さとやま手作りアートフェスタ	備北丘陵公園
10月17日	「写真が語るさとやま」シンポジウム	庄原市ふれあいセンター
10月17日	ふれあい東城まつり	東城小グラウンドほか
10月23・24日	比和やまびこ祭・庄原みりの祭典'21	比和総合運動公園
10月29日	大相撲庄原さとやま場所	庄原市総合体育館
11月3日	お通り	東城町市街地
11月6日	カープ野球教室	総領なかつくに公園ほか
11月7日	帝釈もみじまつり	帝釈自治振興センター

秋のさとやまイベント情報!!

食欲の秋、実りの秋。庄原の秋はイベント真つ盛りです。毎年恒例のイベントやさとやま博企画イベントなど、楽しめるイベントが市内各地で開催されます。今年も、2年に1度の口和モーモー祭や半世紀ぶりに開催される大相撲庄原さとやま場所もあり、見どころが盛りだくさんです。スタンプラリーもありますので、ぜひ会場に足をお運びください。